

檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

## 今年のまとめ



大本山南禅寺に行つてきました。月一開催の本山法話会の講師だったんですが、紅葉真っ盛りの季節でありましたので、大変な人出でした。法話会も盛況。元々出入り自由な会なのですが、すい

ませんと小声で断りながら途中退場のかたもチラホラ。どうやら観光バスの集合時間があるようです。仕方ないけど残念。外国人の方が通訳の方を介してお聞きくださっています。うーん、充分伝わったかなあ、と心配。今年もあちこちで話をさせて戴いてきましたが、なかなか皆さん全員に満足戴くのは難しいことです。来年もまた精進を重ねていこうと改めて思いました。反省と同時に、来年も又一つ一つ頑張ろうと決意。さて、最年末、大晦日まで走り回っています。そんな慌ただしい年末も良いものです。

平成三十年度 年忌表	
年忌	没年度
一周忌	平成二十九年
三回忌	平成二十八年
七回忌	平成二十四年
十三回忌	平成十八年
十七回忌	平成十四年
二十三回忌	平成八年
二十七回忌	平成四年
三十三回忌	昭和六十一年
五十回忌	昭和四十四年

お位牌に書かれた没年月日を確認してみてください。亡き人への報恩と自己を見つめ直す良い機会です。すすんで法要を行いましょう。

## 法話のコーナー 「いつか生死を離るべき」



「蜘蛛駕籠」という落語のマクラは、「昔は移動手段と言ったら籠か馬か歩くだけ。さぞ大変だったろうなあと思えます」と始まります。しかしよく考えると、その頃の人にしてみれば歩くのが当たり前で、ちつとも大変だったとは思わなかったらうとも思います。便利になつて道具を一度使つてしまつたと、その道具なしでは居られなくなつてしまふ。携帯電話なんて最たるものです。昔は一体どうやって待ち合わせしていたのか思い出せないくらいです。いったん便利になると、不自由なくらしというものが俄然疎ましくなつてきます。道具がなければ当たり前なんですけど、人間てのはわがままなものです。禅宗の坊さんをやってお

りますと一番よく聞かれるのが「修行つたいへんなんでしょ」そりゃあたたいへんです。朝三時半に起きて一日中坐禅と掃除と畑仕事、それに托鉢です。寝るのは最初の頃は二時半を廻った頃。でもそういうのは修行に來てるんだから当たり前といつたら当たり前、なにごが大変なんだと良いですよ、普段我々が当たり前に使っている様々な道具がないことなんです。暖房、冷房、テレビラジオから、快適な生活を送るための道具が一切ありません。入門前はタダの学生ですから、この生活に慣れるのがまず大変でした。広いお堂をほうきで

ちまちま掃いていると、掃除機があつたらすぐ終わるのに、時間ができれば坐禅の時間を増やせるんじゃないかなんて非効率的なんだ、と日に日に不満が溜まつてくる。こういうストレスが実は一番つかいでした。皆さんご存じの「白隠禅師坐禅和讃」というお経。「衆生本来佛なり」「直に自性を証すれば」「この身すなわち佛なり」「二十二行44文句のうちこの三句だけ見ても、禅の神髄を分かりやすく説いている大変便利。いや有り難いお経であります。中盤に「いつか生死をはなるべき」という一文が出てきます。「生死を超える」んではないんです。生死から逃れる事はできないのですから、生き死にを克服して超人になりましょう、ではなく「そこから離れよ」と書いてある。生き死にというのとは分かります。朝三時半に起きて一日中坐禅と掃除と畑仕事、それに托鉢です。寝るのは最初の頃は二時半を廻った頃。でもそういうのは修行に來てるんだから当たり前といつたら当たり前、なにごが大変なんだと良いですよ、普段我々が当たり前に使っている様々な道具がないことなんです。暖房、冷房、テレビラジオから、快適な生活を送るための道具が一切ありません。入門前はタダの学生ですから、この生活に慣れるのがまず大変でした。広いお堂をほうきで

にあるのかもしれない。だから修行道場は未だに不便なままにしているんですね。便利な道具がない。そんなのいやだめんどくさい！というところから離れさせるためにわざわざないんです。白隠禅師の師匠の師匠は、お名前をズバリ「至道無難禅師」とおっしゃいます。このお名前は「信心銘」という禅のテキストの中に出てくる「至道無難唯嫌捨」<sup>じやく</sup>という言葉からお取りなつたのと思われまふ。道、至るのに（悟るのに）難きことなし。ただ嫌捨（よりごのみ）をきらうのみ。好き嫌いで物事を選び分けていく心、それさえなければ悟るなんて容易いことだ、と言うことです。いつも自然に、起きたことを選び好みせず、そのまま受け入れて行く、無理のない生き方をすれば、心は穏やかになま。過ごすことができずよ。というのが「いつか生死をはなるべき」。そう考へると修行道場だけが修行の場ではありませんね。選択することの多い毎日の生活の中だからこそ、この教えを実践していく機会がたくさんあるんですね。美しく色づいた枝だけが素晴らしいんじゃない。葉も散つて枯れた枝のたたくまいもそのまま受け入れてみれば、來たるべき春に向かつてじつと忍ぶ、木々の生命の美しさを発見します。ああ自然というのはこんなにも美しいものだったのか、命の営みとはこんなにも美しいものなのか。そう気づくことができるのもまた悟りの一辺なのです。

# 仏事に関する よもやまばなし



互助会、というものに登録されている方も多々と思えます。一昔前、各葬儀社で互助会という名前を、決められた積立金を葬儀社に毎月を払う代わりに各種割引やサービスを受けられる特典を付与した「会員」を募ることが良く行われていました。現在でもそういった会員募集は行われていますが、一見したところ、この互助会制度には、あまり良くない面があるように思えます。

今年夏前、ある葬儀社から驚きの相談を受けました。お盆の法要を我が社でやるので、協賛してくれ、と言うのです。曰く格安の「参加費」を徴収して互助会会員から希望者を募り、葬儀社のホールでどこかの坊さんをお経を上げてもらう、とのこと。言下に断りました。お盆は一業者が主催するようなものではないです。ましてやイベントでもない。それに私が「そちらの互助会会員になっていないウチの檀家さんにも参加を呼びかけると言うことですか？では宝泉寺のお盆会には参加しなくていい、とお考えだと言うことですね」というと黙ってしまいました。どうやらそこまで考えていなかったようです。インターネットで受け負う格安葬儀業者や、いわゆる直送などの流行で、売り上げが

減っている昨今、葬儀社もお客さんの囲い込みに必死だと言うことだなぁ、と思えました。あの手の手で「葬儀」に自分の名前を売り込んでおきたい。企業努力と言えませんが、どこまで行っても「葬儀社のイベント」と「お寺の行事」は別物です。宗教儀礼に敬意を持たないのであれば、それはただの自己満足的なイベントでしかありません。祭壇の前でスポットライトを浴びて歌ったり、人生卒業証書授与なんてやっているテレビCM

Mがありますが、死者をないがしろにすること甚だしいと思えます。そうやって死者にかこつけて「なんでもあり」にしてしまうのには断固反対です。もちろんのことですが、どこかの互助会に参加しなくても、きちんとしたお葬式はできます。むしろお寺を窓口にするれば、その方が良いはずだ、と思えます。真面目に葬儀式、死者儀礼のあり方を勉強している業者をしたいと思います。コマィシャルや魅力的に書かれたパンフレットを鵜呑みにしないで、一度お寺に相談に来てください。電話やメールでも結構。本当に生者死者共に満足できる(価格的にも)儀式を行いたければ、どうぞ宝泉寺を窓口。

**そ** あいうえお用語辞典 (即心即仏)

その心がすなわち佛の心。だから「仏になろう」とする必要が無い。雲に隠された月のように心は本来清浄で、日常煩惱の雲がかかっているだけ。修行とは、雲を払ってやること。馬祖道一禪師曰く「禅のキホンじやよ」

石女 舞成 長寿 曲  
前南禅八十二翁適水軒大徹 印



今年一枚  
9月末巡教師として静岡浜松17ヶ寺を一週間かけて廻りました。大本山方広寺から始まって、山間部の小さなお寺から都市部の大寺まで、大変勉強になりました。写真はうちの一つ、こんな風に演題看板を作ってくださいところもあります。数年に一度の巡教法話を楽しみにしてください。しかもこの立派なお筆。気合いが入りました。そんな思い出の一枚です。

我が輩はニャンである。何が嫌って首輪が嫌いだ。自由な猫には要らないのだ。オトコサンは迷い猫にならないようにと着けたがるが、何度でも外してやるぜ。しかし先日オカカーサンが毛糸で作ったマフラーを装着してくれた。お気に入りである。これは断じて首輪ではない。マフラーであるから、いいのだ。

お 知 ら せ

この「宝泉寺報」は、霊園使用者の方、檀信徒の方々にお配りしておりますが、最近、親戚や、子供の家にも送ってほしいというご要望がありました。そこで、ご希望があれば各家のお施主さん以外の方にもお送りしたいと思います。送ってあげたい人の名前、住所、ご自身との関係(子、孫、友人など)を添えて、HP、メール、FAX、お手紙などでご連絡ください。

宝泉寺 〒193-0944 東京都八王子市館町 344  
TEL/FAX 042-661-3353 アドレス info@housenji.net

石女舞成長寿曲

石女舞成す長寿の曲は、禅の伝統的テキスト宝鏡三昧の一文「木人方に歌い、石女舞いを起す」という言葉が元になった偈頌の一文です。禅の境地を悟ると木像も歌を歌い出し石像の女神も舞を舞う程の喜びであることから、大変縁起の良い文章です。

石女舞成 長寿 曲  
前南禅八十二翁適水軒大徹 印

霊園管理事務所から  
霊園だより

今年もあとわずかとなって参りましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。この年末年始とも、管理事務所ではお花・お線香を用意して皆様をお待ちしております。是非ご利用ください。通常のお花より大きなものも事前にご連絡戴ければご用意させていただきます。また、墓参時に気になった外柵のズレや目地の欠けなどの修理、墓地工事のことはもちろん墓石クリーニングも承っておりますのでとりあえずのお見積もりだけでもお気軽に管理事務所にお問い合せください。末筆ではございますが皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

管理事務所 畑山

オススメ図書  
「米軍新資料 八王子空襲の記録」

太平洋戦争中、昭和20年8月2日に行われた八王子大空襲の記録を、米軍が解禁した資料をふんだんに使って編集した一冊。有名な東京大空襲だけでなく、各地に行われた本土爆撃によって日本を追い詰めていく米軍の作戦が事細かにわかる。写真や地図、米軍作成の被害状況報告なども翻訳されて掲載されている。イデオロギーで語られる戦争ではなく、攻撃する側、される側双方の生の人間同士の悲しみが感じられます。

播磨社 2000円